

2022.10.16～10.29

新潟日報メディアシップ 20階 そらのひろば

小原王明 写真展

阿賀野川と生きていく—AGANO RIVER—

新潟市の繁華街 万代地区で開催
2Wで1800人の見学者で大好評

見学者のアンケートより

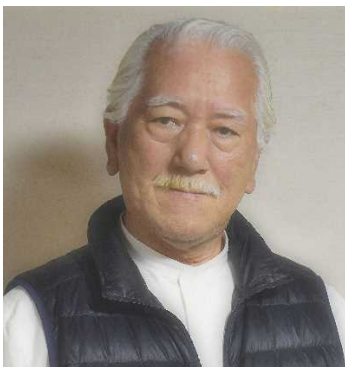
・素晴らしいの一言に尽きます。すぐそばにあるのに気付かない美しさを教えて頂きました(40代)・通学でほぼ毎日阿賀野川を渡っていますが、こんなにも色々な表情があるのだと驚いた。また、阿賀野川の美しさを通して伝わる水俣病患者の苦しみや怒りがありました(10代)・素晴らしい写真を見せていただき、有難うございました。これほど素晴らしい瞬間を切りとれるのは対象とじっくりと向き合ってこられた小原さんにしかできないお仕事とと思いました(40代)・いろんな色、いろんな表情の阿賀野川でこんなに心動く風景が新潟にあるのは誇りに思えます。BSN ラジオを聞いて来ました。とても素敵でした(50代)・小原さんは詩人でもあります。コメントがぐっと迫ってきます。・夜明け前、氷点下での撮影、努力、気持ちがあってこそ撮れる水辺の風景と思いました。



写真展 オープニング・イベント

トークセッション

小原 王明 × 遠藤 麻理



自然系写真家

1948年東京生まれ。33歳の時、新潟に転勤。SI会社経営を55歳で引退し、ライフワークとして自然系カメラマンになる。白鳥写真家 本田清先生の勧めで、阿賀野川の白鳥写真を撮るため300日阿賀野川大阿賀橋に通う。2014年個展「阿賀野川挽歌」で患者会・酢山と出会う。2018年、写真集「AGA MINAMATA」発行。

ラジオパーソナリティ

新潟市(旧巻町)出身。2006年制作のFMPORT 特別番組「阿賀の流れに思いを乗せて～参ちゃんが唄う新潟水俣病～」が関東甲信越・静岡ブロックで日本民間放送連盟賞と日本文化大賞グランプリ受賞。FMPORTを経て、現在BSNラジオ「四畳半スタジオ」で活躍中。「ラジオを止めるな」他の書籍も好評。



—阿賀野川がワッカであり続けるように— ワッカはアイヌ語で「清い川」

○日時 9月10日(日) 午後1時30分～午後3時

○会場 環境と人間のふれあい館

○入場無料・事前申込 定員80人。先着順

○申し込み締切 9月6日(水)

○電話(025-387-1450)、FAX(025-387-1451)またはメール(fureai@abeam.ocn.ne.jp)にて、下記申込書の内容をお知らせください。

○申込書(PDF)は、県ホームページからダウンロードできます。

申込書 FAX:025-387-1451 FAXで申し込みの方は、右記を記入して、このまま送信して下さい。	お名前			
	ご住所	〒		
	連絡先	電話番号		
		FAX番号		
メールアドレス				